

2020年9月14日

ソフトバンクとのビジネスマッチング契約締結について ～「A I 温度検知システム」の紹介が可能になりました!～

足利銀行(頭取 清水 和幸)は、ソフトバンク株式会社(代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮内 謙)と「A I 温度検知システム」に関する紹介業務におけるビジネスマッチング契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

ウィズコロナ時代において、各事業者には、お客さまや従業員の検温測定等、さまざまな感染症対策が求められています。本システムは、A I の活用により対象者の推定体温とマスクの着用有無をスピーディーかつ非接触で確認することができます。

このたびのビジネスマッチング契約締結は、ソフトバンク株式会社が提供する「A I 温度検知システム」をご紹介することで、検温作業者の人員確保や接触感染リスク軽減を支援することを目的としております。

当行は今後も、お客さまのニーズの把握に努め、事業課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

記

1. 提携内容

医療・介護施設や飲食店など、来店者等の検温作業に課題を抱えているお客さまへ「A I 温度検知システム『SenseThunder (センス・サンダー)』」のご紹介

※「A I 温度検知システム『SenseThunder』」は、ソフトバンク株式会社の子会社である日本コンピュータビジョン株式会社(代表取締役社長 アンドリュー・シュワベッカー)が開発するI Tソリューションです。ソフトバンク株式会社は同システムの販売・導入支援を行っています。

2. 提携先

提携先	ソフトバンク株式会社
所在地	東京都港区東新橋一丁目9番1号
設立	1986年12月
資本金	2,043億円
代表者	代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮内 謙

3. 「A I 温度検知システム『SenseThunder』」の特長

(別紙) のとおり

以上

【「A I 温度検知システム『SenseThunder』」の特長】

(詳細は [ソフトバンク株式会社のホームページ](#) をご覧ください。)

- (1) A I を活用した「独自の顔認証デバイス」と「サーモグラフィカメラ」の組み合わせにより、マスク・メガネを着用したままでも、わずか 0.5 秒で個人認証と温度測定を同時に実施し、発熱の疑いのある人をリアルタイムに見分け、警告表示します。
- (2) 通常のサーマルカメラや、おでこ型検温計では実現し得なかった、「体表温度」を「推定体温※」に予測変換できる仕組みが搭載されています。
- (3) 自動で対象者の体表温度を測定できるため、検温時の接触感染リスクを軽減するとともに、人件費を抑えた運用が可能です。
- (4) クラウドで顔認証や温度検知履歴を管理でき、パソコンのブラウザ上で確認・管理が可能です。
- (5) より高精度で不特定多数の人の判定に適したロビーや受付向けの最上位モデルと、小さなスペースに設置可能なドアやゲート向けのコンパクトモデルをラインアップとして用意しています。

※本製品は医療機器ではありません。体温測定や診断目的での温度検知には、医療機器を使用してください。